



福祉よさのうみ

〈発行〉社会福祉法人 よさのうみ福祉会 〒629-2314 京都府与謝郡与謝野町字岩屋600-6 TEL 050(3532)0601 FAX 0772(43)0606

障害のある人のゆたかな地域生活の実現を! URL <http://www.yosanoumi-fukushikai.or.jp>

竹を楽しむ創作活動!



作っている途中



ペン立ても完成

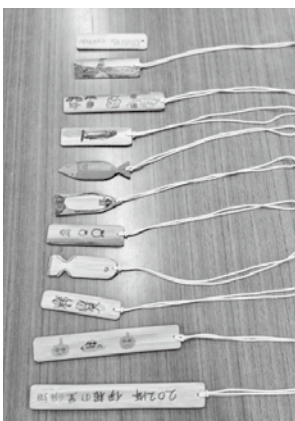
ふだんは見られない
笑顔に出会おう。

伊根の里 主任 野村和弘

伊根の里では余暇支援の取り組みとして創作活動を5月29日(土)より出勤日の土曜日に3回にわたりおこないました。

仲間がどの程度興味を持つてくれるのか、集中力はどうか? さぐりながらの活動でしたが、楽しく集中した3回の活動となりました。内容は竹を使った「うなり竹」とペン立て作り。「うなり竹(木)」とは元々オセアニアの伝統楽器で先端に紐を付け振り回すと回転によりうなるような低い音が出るというもの【まず職員が実際に作って見てもらいます。

何より安全第一で、基本的には職員が形や大きさを本人と相談しながら決めますが、少しでも感性を引き出せるような声掛けをし、形が決まれば、あとはひたすらサンドペーパーで磨く作業。この作業をしつかりすればするほど絵を描いたり色付けすることがとても楽になります。驚いたのは仲間の集中力でした。魚を作った仲間からは「自分のイメージするものができてうれしかった」みんなのふだんは見られない笑顔に出会えた気持ちのいい創作活動ができました。



すてきな完成品

身体を動かそう!!

夢織りの郷つむぎ 支援員 濃野朋代

つむぎでは、これまで毎月第1、3、5の土曜日はさまざまなボランティア団体のご協力を得て取り組みをおこなっています。ヒップホップやフラダンス、健康体操など、鑑賞をしてから講師の方と一緒に踊る、アクティブな取り組みもたくさん実施してきました。しかし、昨年からの新型コロナウイルス感染症の影響で外部団体の参加が難しくなっていました。

感染症対策に注意しながらの各班に分かれての取り組みとなりましたが、みんなで身体を動かしたいという要望が仲間からたくさんあがりました。

そこで職員、腹をくくりました。自分たちが講師となつてみんなで身体を動かそう！ダイエツトにもなるね！と。ダイエツトは置いておいて、コロナのストレスを吹き飛ばすぞー！というテーマの下、ユーチューブの力をたくさんたくさん借りて実施しました。

まずは準備運動も兼ねて王道のラジオ体操からスタートです♪次は絶対に欠かせないズンドコ節！「ズ、ズンズンズンドコ○○○」氷川きよしファンの仲間の名前が飛び交いました。そして、つむぎ

で大人気のラーメン体操、みんな大好きサザエさん体操が続きます。オリンピック期間中ということ

でパブリカ♪もはやみんな完璧に踊れます♪「踊り足りない！」という仲間のために、ヤングマンで締めました。もはやカラオケタイムとなつている人も。：。

「楽しかったー」「いい汗かいたね！」「次はカラオケで歌いたいな。」それぞれがそれぞれの楽しみ方で時間を過ごされました。コロナだから：ではなく、感染症対策はしっかりおこなった上でできることを探して取り組む！次は何かな？ワクワク♪楽しい時間をみんなで共有する事が一番ですね！



みんな楽しく元気に身体を動かしました

新型コロナウイルス感染症予防対応

常務理事 奥田茂樹

首都圏が中心であった新型コロナウイルス感染症は急速に全国的に拡大し歯止めがかからない状況が生まれ、政府は京都府を含めた21都道府県を「緊急事態宣言」対象地域としました。政府は東京オリンピックを「新型コロナウイルスに打ち勝った証としてのオリンピック」と開催意義を打ち出していますが、現実には感染者数が全国で25000人を超える日が現れるなど感染拡大が止まらない現状にあります。

法人感染症予防策の周知と徹底

法人では「新型コロナウイルス緊急事態宣言」が京都府に出された2020年4月以降、「感染予防に関する基本方針」を作成し感染状況等を加味しながら、適時「基本方針」の変更をおこない今日に至っています。利用者、職員の皆さんには活動の制約をお願いするような内容も含めながらも、感染予防の取り組みに対し周知と徹底を図ってきました。

PCR検査に事業所間で格差が

京都府では府内高齢者、障害者等の事業所における感染拡大を防止するため、職員を対象としたPCR検査が実施され、入所支援施設「いきいき」では3月から8月までの間で計5回実施し、通所系事業所においても6月から8月ま

で2回実施しました。しかし実施対象外とされる、相談支援事業所結（宮津、京丹後、与謝野）、障害者就業・生活支援センターこまち、ヘルパーステーション結はPCR検査を受ける場合には法人の実費でおこなう必要があり、障害者支援に従事する職員間でこうした格差を設けることに対しては改善を求めたいものです。

ワクチン接種のさきこ

ワクチンの利用者、職員への接種については幸い優先接種が進められ、伊根町では6月から、宮津市、京丹後市、与謝野町では7月から1回目の接種が始まり、8月には2回目の接種を終える予定になっています。利用者の方で接種に対し支援の必要な方は事業所が通院等の支援をおこない、希望される方全員の接種がおこなえるよう進めました。

ワクチン接種がすすみ人口の一定割合が免疫を持つ「集団免疫」が獲得できれば、感染が抑えられると専門家は言います。

1日も早くコロナ禍が終息し、安心して暮らせる元の社会に戻るよう感染対策を緩めることなく実施し、利用者、職員の健康と暮らしを守っていく必要があると考えられています。



抗原抗体検査実施中

第1回こまち在職者のための交流活動について

障害者就業・生活支援センターこまち
就業支援相談員 尾上 数馬



7月31日に宮津市府公民館で宮津・与謝地域にお住まいの方を対象に参加者17名、職員7名で「在職者のための交流活動」を実施

しました。

これは就職されている方が交流し、職場での悩み等を話し合う機会をつくり、職場への定着状況を把握したり、職場での課題を解決するための援助をおこなうことを目的としています。年に4回開催する予定で、最近ではコロナ感染予防のため京丹後市の方と宮津市・与謝野町・伊根町の方と分けて開催しています。

今回はまず「密にならないワークシヨップ」というテーマで、さまざまな障害種別の方々が分け合ってきた。シヤツフル作文では列ごとに3人一組の6チームを作り、「どこで、誰が、何をした」と参加者それぞれが紙に記入しました。「舞鶴で、千原さんが、ユーチューバーになる」など面白い文章ができました。

お絵かきリレーでは参加者が提案してくれたクルマというお題で各々の価値観の詰まった作品が出来上がりました。太陽や道まで描くチームやメーカーのロゴを描いた方もおられました。コロナ禍でも知恵を絞り、腹の底から笑って疫病退散ができました。

交流会でピアサポーターの発表

就業支援相談員 西原 美恵

今回から交流会のスケジュールの中に、「私の履歴書」と題してピアサポーターの発表を取り入れました。ピアとは「仲間」を意味し、ピアサポーターとは「仲間同士の支え合い活動」のことをいいます。ピアサポーターは、参加者の中から発表をしてくれる方に依頼し、第1回目は与謝野町にお住いの奥田真司さんが引き受けてくださいました。

奥田さんは、一般就労をするもなかなか合う仕事が見つからず、ワークセンター花音で調理の仕事に就かれました。

そこで、徐々に力をつけていかれ、3年働いたところに花音の山口主任（当時）が一般就労をうけてみませんか？と声をかけ、現在の生活リハビリ道場に就職が決まりました。

私は4月から担当になったため、これまでの経過やそのときの様子

をワークセンター花音の元主任山口郁子さんや、生活リハビリ道場の生活相談員白数美和さんにお聞きして、サプライズとしてビデオメッセージを撮影しました。

そして当日。奥田さんは緊張することなく自分の体験談を語られました。発表の中に、お二人のビデオメッセージを入れるとびっくり！感想をお聞きすると、「山口さんは久しぶりですごうれしくて、もう涙がでそうです。白数さんには、僕が仕事についてたときからずっとお世話になって、これからも頑張ります」と話されました。

参加者の感想の中でも「山口さんには私もお世話になったのでお元氣そうでよかったです」「他の方がどんな仕事をされているのか聞けてよかったです」とそれぞれに感じるものがあつたようです。

今ではすっかり職場になくはない存在の奥田さんですが、今後夢であるヘルパーの資格取得に向けて頑張つてほしいです。

私もそんな奥田さんを支えていきたいと思いたいと思います。



私の履歴書発表

法人40周年企画

イメージキャラクターができました

長岡ホーム 主任 西川 悟子

よさのうみ福祉会40周年イメージキャラクターに決定した「コーヒーマン(左)」と「ゆめっ子(右)」です。そんな2人を紹介します！

コーヒーマンは、たくさん仲間が大好きなコーヒーをイメージして誕生しました。

ゆめっ子は、たくさん夢や希望に満ち溢れています。みんなの心にあたたかい灯をともし、周りのひとたちはほんわかとした気分になります。

どんなときも「やさしく、あたたかく、夢いっぱい」な2人。「よさのうみ愛」に包まれたコーヒーマンとゆめっ子をよろしくお願ひします！





HACCPに基づき念入りに消毒中

作業	事業所名	製造品目等
弁当製造・配達	ワークセンター花音	喫茶、介護施設給食下ごしらえ、夕食用弁当
	すまいる	昼食用弁当
	伊根の里	昼食用弁当
	夢かご弁当(野田川共同作業所)	昼食用弁当
菓子類製造	峰山共同作業所	クッキー等
	みねやま作業所	パウンドケーキ等
	ゆうゆう作業所	せんべい
	夢織りの郷つむぎ	ポン菓子等
缶詰ほか 多種類製造	リフレかやの里	清涼飲料水、缶詰、焼き菓子等

よさのうみ福祉会では次のとおり9つの事業所で食品作業をおこなっています。

よさのうみ福祉会の食品作業について

みねやま作業所 主任 岡田 亜希子

よさのうみ福祉会におけるHACCPの取り組みについて

HACCP(ハサップ)とは

HACCPとは、「Hazard Analysis and Critical Control Point」の略で、食品等事業者自らが食中毒菌汚染や異物混入等の危害要因(ハザード)を把握した上で、原材料の入荷から製品の出荷に至る全工程の中で、それらの危害要因を除去又は低減させるために特に重要な工程を管理し、製品の安全性を確保しようとする衛生管理の手法です。この手法は国連の国連食糧農業機関(FAO)と世界保健機関(WHO)の合同機関である食品規格(コーデックス)委員会から発表され、各国にその採用を推奨している国際的に認められたものです。(厚生労働省ホームページより引用)

2018年6月、「食品衛生法」の改正法案が可決され、2020年の6月から食品を扱う全事業者に対してHACCPによる衛生管理の義務化が開始されました。1年間は猶予期間が設けられ、2021年6月からHACCP導入・運用が完全義務化となりました。食品等事業者はコーデックスのHACCP7原則に基づき、自らが使用する原材料や製造方法等に応じ計画を作成し「HACCPに基づく衛生管理」をおこなっている

HACCP完全実施へ、そして…

2021年6月の完全実施に向けて、HACCP7原則に基づき危険因子の特定と管理基準の設定、作業工程や作業環境の見直しをおこない、衛生管理計画や各種記録表を作成していきました。その中で改めてさまざまな課題が見えてきています。弁当・焼き菓子等に関わらず食品作業を行っている事業所に共通している一番の課題が「利用者本人の衛生管理」です。正



「-21.4度です！」利用者が冷凍冷蔵庫の温度記録をしています。

しい手洗いの難しさ、日常生活の中での清潔保持の認識付けを衛生学習や日々の衛生指導を通してどのように伝えていくか、完全実施となった現在も一番の課題となっています。ハード面の課題を抱える事業所も多く「山が近く作業室に昆虫が入ってくる」「床が古く凹凸でよくつまづく」などの環境や建物の老朽化問題などがあります。また作業時間が短いことから、工程上必要な作業に費やす時間の確保や、清掃時間の確保も課題となっています。しかしHACCPの取り組みは大変なことばかりではなく、動線がよくなったり利用者に記録の役割を持ってもらうことができたりと新たな発見や気づきも多くありました。課題はたくさんありますが担当職員が知恵を出し合い、工夫と努力を重ねながら「食の安心安全」のため、HACCPの取り組みを進めています。

2021年度新任職員法人内事業所ツアー

2021年6月22日に新任職員法人内事業所ツアーがおこなわれました。

法人事業所の全体像を把握し、法人の歴史から運動の大切さについて理解を深めることを目的として実施されました。

今回はゆうゆう作業所以外の全事業所を1日で回り終えましたが、改めて法人規模の大きさと歴史の深さを感じました。

参加者は新任職員8名のほか、よさのうみ福祉会の礎を築かれた玉岡さんと松村さんにも参加をしていただきました。

移動中のバス内では青木理事長より各事業所の歴史や建設の経緯などの説明があり、見学時間には限りがありました。各事業所の特徴を前もって理解でき、有意義な時間を過ごすことができました。

各事業所においては、施設の現状や取り組み内容を聞くことで新たな発見もあり、自身の振り返りや今後の新たな決意や展望を持つことができました。

そして、今回は玉岡さん松村さんの参加により再会を喜ぶ仲間や笑顔で思いつき話をされる様子を見ていると、まわりの私達も自然と嬉しい気分になりました。

◆参加者の感想(一部抜粋)

◆作業所を利用している仲間の方の暮らしの場のイメージができていませんでしたが、今回のツアーで暮らし

の一部分だけでも知ることができて良かったです。(野田川共同作業所 支援員)

◆他の事業所について、名前は知っていたけども場所や作業内容がわからなかったり、ツアーに参加することで法人内の仲間や職員との意見交換や交流ができて、とても貴重な1日になりました。(ゆうゆう作業所 支援員)

◆ツアーに参加していなければ、法人の全体像の把握は難しかったと思いますし、またこのきっかけが無ければ、他の事業所への関心も中々湧かなかったと思います。(ゆうゆう作業所 支援員)

◆帰りのバスで、玉岡さんが松村さんに言われた「何もなければ夢はある」とこの福祉会の活動に誘われた話が心に残りました。その夢を諦めずに一つひとつ叶えてこられ、今の事業所があることに感謝します。(ワークセンター花音 支援員)

◆下請け作業で同じ会社の製品を扱っていることに親近感のようなものが湧き印象に残っています。各事業所だけではなく、その会社と法人との関係があつてこそ仕事をいただいているのだと感じました。(野田川共同作業所 支援員)

◆他事業所の作業内容、各作業部屋内の工夫など直接説明していただき大変勉強になったこともたくさんありました。



事業所ツアーでは毎回おいしい花音のランチが大好評!

菜の花ホーム 主任 市田博也

各事業所が抱えている課題を聞き、共感できること勤務先でも活かせることなどいろいろ感じることもありました。(峰山共同作業所 支援員)

◆事業所の説明を受ける中で、その人にとつての「居場所づくり」というのは、とても重要で大切なことであるといふことを他事業所の見学の途中で改めて実感しました。(ゆうゆう作業所 支援員)

◆1日バスツアーを経験し法人がこの丹後一円に広がっていることを知りました。初めて見学する事業所ばかりで勉強になりました。(いきいき支援員)

◆利用者さんも職員もニコニコしながら作業に取り組んでおられる姿に感動しました。自分も頑張ろうという気持ちになりました。(いきいき支援員)

◆毎回ツアーでの説明役をお願いしている青木理事長からも感想をいただきました。

それぞれ短い時間でしたが案内説明して頂いた管理者・主任の皆さん、教育研修委員としてツアーコンダクターを担当された市田主任、9時間のべ140キロのコースを安全運転で走行された杉本管理者、誠にご苦労様でした。

解散前の15分間、バス内で参加者の一口感想を発表しました。参加者全員からツアーに参加して沢山の学びを得たことが語られました。なかでも、評議員として参加された玉岡さんは「私は、1977年に大阪から丹後に移り峰山共同作業所に就職した。翌年、松村さんに『丹後の共同作業所は条件は厳しいが夢がいっぱいあるよ』と誘い掛け

峰山共同作業所に来てもらった。本日、法人の事業所を回って、40数年をかけてみんなで沢山の夢を実現してきたんだと実感した。

若い職員皆さんに、はこれから頑張つて下さい。」と発言されました。



リフレのバスにも毎回お世話になっています

9月17日には第2回目の事業所ツアーをおこなう予定です。コロナ禍で人数に制限はありますが、ぜひぜひ参加をお待ちしております。

優生保護法問題の解決に向けて

きょうされん全国理事

ゆうゆう作業所

管理者 山口 高志

1948年におこなわれた通常国会において、「不良な子孫を残さない」ことを目的とした優生保護法が成立しました。

この法律は1996年、不良な子孫の出生防止にかかわる条項が削除され、母体保護法に改正されるまで48年間日本に存在しており、この法律の下、国の施策として、障害のある人に対し同意の有無にかかわらず不妊手術をおこなうことが繰り返されました。

少なくとも1万5千人以上の人々が強制的に、もしくは何も知らされずに不妊手術を受けさせられたことが明らかになっています。

また、合意を得られたことになつていても、障害のある人の社会的に弱い立場の中で、不妊手術を迫られ、首を縦に振らざるを得なかったケースも決して少なくなかったものと思われま

す。国が主導しておこなわれた決して看過できない人権侵害であり、命に差をつけ選別する「優生思想」そのものの考え方で作られた法律

が、1996年まで続いていたことに大きな憤りを感じざるを得ません。(ちなみに、岩屋の地に夢織りの郷が開設されたのがわずか1年後の1997年でした。)

その後、1998年には、国連人権委員会が政府に対し、強制不妊手術の被害者に対し、補償をおこなうよう勧告をしましたが、具体的な動きは作られず、2019年になりようやく被害者に対し一時金を支払う救済法が成立しました。

しかし、救済法を被害者に周知する取り組みが不十分であったり、法律に国としての謝罪が入っていません。なかつたり、一時金について、他人権侵害の補償金に比べあまりにも低額であったりと、被害者の心にしつかりと寄り添う内容とは程遠い内容になっています。

また、2018年仙台地裁を皮切りに、各地で国を相手に旧優生保護法による被害に対する裁判が争われています。裁判への大きな後押しを含め、この問題の解決に向けた取り組みは、今後の障害者施策の根本にも大きな影響を及ぼすとても大切な取り組みです。

きょうされん第44回全国大会のお知らせ

【しながり】 語の合おういっくひだそいっく

一人ひとりの『いのち』輝く社会を〜

ヘルパーステーション結

管理者 岩崎 圭史

よさのうみ福祉会の各事業所が加盟している『きょうされん』は、例年各地から関係者が一堂に会し、『きょうされん全国大会』を開催し共に学びあい交流することで活動のエネルギーとしてきました。【わたしたちのめざすもの】の下に多くの仲間が集まることで大きな力を生み、ひとりではない心強さを感じることができていました。

ただし、この間の新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年の和歌山大会は残念ながら中止となりました。未だ終息が見えない中ではあります。こんな時だからこそ全国の仲間たちとつながり、絆を確かめ合うために、今年度は「きょうされん第44回全国大会」を10月29日(金)にオンラインで開催することとなりました。

開催当日は、全国50か所の拠点会場をネットでつなぎ、同時配信もされるので各事業所やご家庭でご覧いただくことも可能です。

全国大会のテーマソングはきょうされんの常任理事でもある、ゆうゆう作業所の山口高志管理者が作詞作曲をしました。歌詞の一部の「あなたとわたしとみんなの声をつなぎ合わせてひびかせて」は、きょうされん利用者部会と厚生労働省

との要望懇談の中での「仲間一人一人の声を集めて伝えることが大切」という発言から生まれたフレーズです。タイトルのとおり参加者一人一人が主人公となるような大会です。ぜひ多くの方の参加をお願いいたします。



全国大会キャラクター

第44回全国大会テーマソング

みんなが主人公のまち

作詞・作曲 山口高志

ひとりでやんで おちこんで
なみだながした よるのこと
あさひがてらす なかまのえがお
ひとりじゃないと おもえたひ
こんどみんなとあえたとき
なにをはなそうか わくわくするよ
あなたとわたしとみんなのこえを
つなぎあわせてひびかせて
きつとつくるやくそくしよう
みんながしゅじんこうのまち

わたしのすきな このまちは
なんといいても ○○○○○○!!
みんなにじまん したいよ
とつてもステキな ○○○○○○!!
こんどみんなを まねくから
いっしょにもりあがる

わくわくするよ
あなたとわたしとみんなのこえを
つなぎあわせてひびかせて
きつとつくるやくそくしよう
みんながしゅじんこうのまち
※○○○○○!!は、作業所の名前を入れて歌います。

親のつとめ



楠 龍巳さん
護学校を卒業して以来、ずっとみやづ作業所でお世話になっていきます。

今年で33歳になる楠龍巳です。

な作業ができるのだろうか心配でしたが、先日見学をする機会があり、見せてもらいました。

本人は照れくさそうにしていましましたが、落ち着いて自分なりのペースでコツコツと作業をしている様子を見て、安心もし、うれしくも思いました。

かわらけを入れる箱のしきりも龍巳が倒れないようにしたこととを聞かせてもらい、感心しました。家の方でも片付けに関しては自分の机の上もきれいに箱で区切り、それに合ったスペースをつくって整理整頓をしていることが作業所でも考えられたのだと思います。

毎日、通うことを本当に楽しみにしていて、休日が増えるとおもしろい龍巳です。

大好きなことはテレビでの野球観戦と相撲の観戦です。野球は巨人ファンです。特に好きな力士はないようですが、誕生日

みやづ作業所

利用者家族 楠 裕見子

にプレゼントでもらった相撲の本と力士のカレンダーが大事な宝物になっています。

お父さんはテレビでなく、本物を見せてやりたい、させてやりたいといつも言っています。相撲の地方巡業は見に行ったりとはありますが、まだ本場所へ行ったことがないので大阪場所に連れて行くことを目標にしています。ゴルフも年に1、2回コースをまわるように連れて

いってもらいます。少し私たちにも気持ちに余裕ができたのでしようか、年をとったのでしよるか、龍巳にいろいろなことを経験させてやりたいとそれが口ぐせのようになっていきます。

龍巳のこれからの生活のことも話すようになってきました。グループホームのこと、自宅で生活するにはどうしたら良いとか。家族の中心に龍巳をおいて生活ができることを考えていたなら良いなあと思っています。長男夫婦と同居しています。兄夫婦にもなるべく負担をかけないように、龍巳のこれからの生活のためにも、少しずつ自分でできることを増やし、自立していつてほしいと思います。

私たちが元気な間に、ひとりで生活ができることを見届けたと思います。

わからないって・幸せなこと

私は、この福祉の世界のことは全く分からずに、飛び込みました。水泳選手で言えば、飛び込んでまだ数メートルしか泳げてないのに、初心も忘れて100メートル泳いだ気になったり、必死であがいて泳いでいたり、溺れかけたりにして、てんやわんやな支援員です。そんな毎日の中でも、励みに頑張れるのは、周りの人達の優しい輪があるからです。このやすらの里の皆さんも優しく接してください、ありがとうございます。

随想



ワークセンター花音清美
支援員 加賀谷

分の目標もできて、幸せなことだなんて思っています。この前驚いた話ですが、家では職場の話はほとんどしないのに、全く福祉に興味もなかった子供が、進学する選択肢に、福祉のコースが入っていて、顔では平気を装いましたが、心の中は「えっ！」と叫んでいました。でも毎日の生活の中で何か伝わっていたのだと思います。

な、花音の利用者さん、職員さんがたくさんいることを教えてくれて、優しい輪がある職場なので、今日もここに立っています。わからないことを学び、頭から何本もねじが出ては拾い、緩んでは締めて忙しい毎日、わからないことを助けてもらうことで、また私もしょうー頑張ろう！と前向きになれる。そんな気持ちになれる仕事に就けて、内緒ですが自

次回

与謝野町障害者相談支援事業所 結 相談支援員 河岸 伊都子です。

新人職員紹介

氏名 西馬里佳
所属 夢織りの郷いきいき支援員



【これまでの略歴】 福知山の障害児入所施設・保育所・作業所

【趣味・好きなこと】 温泉が大好きで、ゆつくりつかり疲れを癒すこと

【抱負】 仲間の願いや思いに寄り添い、その思いを大切にできる支援員でありたいと思います。そして「仲間と共に」私自身も成長していきたいと思っています。

氏名 草本美穂
所属 峰山共同作業所支援員



【これまでの略歴】 高齢者施設（デイサービス）の介護職員

【趣味・好きなこと】 海外旅行。（ここ2年行けていないので早くコロナが落ち着いて欲しいです。）

【抱負】 仲間の方々が、毎日楽しいと思える職場、自分の居場所だと思っ

て頂けるような支援したいです。

くりくりで仲間の手作り製品の魅力を感じて下さい!!

クリエイトショップくりくりは、この秋に8周年を迎えます。

今年は、コロナの影響で営業自粛を余儀なくされる時期もありましたが、8月には陶芸展を開催し、作業所製品の魅力を地域に向け発信することができました。10月16日(土)と17日(日)には、オープン8周年を記念し、周年祭を予定しています。千本釣りや特別販売などの催しを企画していますので、読者の皆様もぜひご来場ください。



また、くりくりではサポートターズクラブ会員を募集しています。入会特典として300円の商品券とスタンプ10個捺印済

みのスタンプカードをお渡ししています。サポートターズクラブへの入会もふくめ、くりくりへの力強い応援をぜひよろしくお願います。

※新型コロナウイルス感染拡大の状況によつては、周年祭の開催を延期又は中止させていただく場合があります。



ご来場お待ちしております!

ご寄付御礼

みなさまからのご寄付、誠にありがとうございました。

2021年6月21日〜2021年8月20日 (順不同・敬称略)

- 田揚智代子 日下部みはる
- 青木一博 大成金属株式会社
- 松村繁

編集後記

年々この暑い夏がしんどくなってきました。

仕事を終えやつと自宅に帰ると猫2匹が迎えてくれるのが今の私の癒しです。コロナもあり自宅で過ごすことが多くなり最初はどこか行きたくてムズムズしていた私も、最近はお家の方が落ち着き、休みは家のことをしながら猫とゴロゴロしています。少し前まで子供のことで時間に追われていたのが嘘のようです。

こんなゆつたりとした生活の中急に寂しくなる時があり、そんな時は母を訪ね一緒に買い物したり食事をします。ふと母を見ると肩が丸く身長も小さくなっているのに気が付き、若かった母を思い浮かべると寂しくなってきました。あと何回一緒にご飯を食べられるだろう。あと何回一緒に笑えるだろう。あと何回髪の毛切つてあげられるだろう。▼そんなことばかり思っている。と悲しくなってくるので、私を癒してくれる猫を探して家の中をうろろろするのですが、そんな時はたいがい見つけることができなくなってくるのを待つのみです。▼私を癒してくれるこの子達(猫)を最後まで世話することが今の目標です。こんな風に休日をごさせているので次の日からの仕事が頑張れます!!(矢)